学校番号	3019

令和８年度　福祉科

教科	商業	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「社会福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「ふくし」とは、地域で生活しているすべての人々の「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせ」について考える勉強です。「ふくし」の対象者は高齢者や障がい者や子どもだけでなく、私たち一人ひとりの生活に欠かせないものです。超高齢社会において、必要な「ふくし」に関する基本的な知識やマインド(こころ)を一緒に学びましょう。

２　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を、次のとおり育成することを目標とする。

（１）社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解することができるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を身につけさせる。

（２）現代の福祉制度がつくられた背景や経緯を学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【知識および技術】

社会福祉について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

【思考力、判断力、表現力等】

社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

【学びに向かう力、人間性等】

健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観をふまえ科学的な根拠に基づいて、創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　社会福祉の理念と意義	第1編　社会福祉の理念と意義 第1章　生活と福祉 1　少子高齢化と人口減少に向かう日本 2　産業と地域社会の変化 3　家族と働き方の変化 4　疾病構造の変化 5　人の一生と社会福祉	a:超高齢社会を迎えた日本社会における私たちの生活の変化について、基本的な知識を理解している。 b:超高齢社会における福祉的な課題に対して、グラフやデータより論理的に考察し、表現することができる。 c:私たちの生活における変化に興味や関心をもち、生活課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
	第5編　地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	第5編　地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第2章　地域福祉の進展と地域の将来 1　つながりの再構築と社会福祉の役割 2　地域社会とボランティア 3　非営利組織の活動 4　福祉のまちづくりと地域社会 5　新時代に向けた社会福祉～地域共生社会の実現に向けて～	a:地域で生活しているすべての人々が心豊かな生活を送るための地域福祉やまちづくり、ボランティアの役割について、基本的な考え方や知識を理解している。 b:地域福祉の課題について新聞記事などを活用して、それぞれの地域住民の立場から多面的に考察し、表現することができる。 c:私たちの日常生活における福祉的な課題に興味や関心をもち、ボランティア活動への参加など、課題解決に向けて主体的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート レポート	提出ノート 振り返りシート レポート 観察
2学期	第4編　人間関係とコミュニケーション	第4編 人間関係とコミュニケーション 第1章　コミュニケーションの基礎 1 コミュニケーションの意義と役割 2 コミュニケーションと方法 第2章　支援における人間関係の形成 1 傾聴・受容・共感の姿勢 2 利用者理解と支援者の自己理解	a:コミュニケーションを行う上で基本となる姿勢を理解し、配慮の必要な方に対して、相手の立場に立ったコミュニケーション方法を理解している。 b:コミュニケーションの方法を学び、自身の生活や必要な時に活用できる。 c:相手の立場に立ったコミュニケーションの方法について教科書やインターネットを用いて活用法を調べ、主体的に行っている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート レポート	提出ノート 振り返りシート レポート 観察

	第3編　生活を支える社会福祉・社会保障制度	第3編　生活を支える社会福祉･社会保障制度 第2章　子ども家庭福祉 1　少子化時代の子ども子育て支援 3　子ども支援と保育 5　子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 6　社会的養護と児童虐待への対応 8　子どもの権利と子ども家庭福祉	a:児童および家庭を支える社会福祉サービスについて理解している。 b:児童福祉における課題について新聞記事などを活用して、当事者の立場から考察し、表現することができる。 c:児童福祉に関して興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
		第3編　生活を支える社会福祉･社会保障制度 第3章　障害者福祉 1　障害者福祉とは 2　障害の社会モデルとICF 4　障害者福祉の理念 11　障害者福祉の今後のあり方	a：障がい者および家族を支える社会のあり方や障がい者福祉の考え方を理解している。 b：障がい者福祉における課題について新聞記事などを活用し、当事者の立場から考え、表現することができる。 c：障がい者福祉に関して興味や関心を持ち、主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
3学期	第3編　生活を支える社会福祉・社会保障制度	第3編　生活を支える社会福祉･社会保障制度 第4章　高齢者福祉と介護保険制度 1　日本が直面する人口構造の高齢化 3　介護保険の誕生 5　高齢者の在宅サービス 8　介護保険施設	a：高齢者の抱えている課題について把握し、困りごとに対しての支援のあり方を理解している。 b：高齢者に提供されているサービスについて実際のサービスや知識を活用し、現在のサービスの問題点を考察したり、表現したりすることが出来る。 c：高齢化問題について、興味を持ち、主体的に学習出来ている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察
	第1編　社会福祉の理念と意義	第1編　社会福祉の理念と意義 第3章　人間の尊厳と新たな社会福祉の創造 1　人間としての尊厳 2　自立生活支援 3　新たな福祉社会の構築に向けて	a:人間の尊厳や自立した生活について、基本的な考え方や地域社会のあり方を理解している。 b:高齢者や障がい者などの自立生活の支援方法について事例などを活用して、当事者の立場から考察し、表現することができる。 c:地域の一員として、困っている人に対して主体的に活用できる態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度